

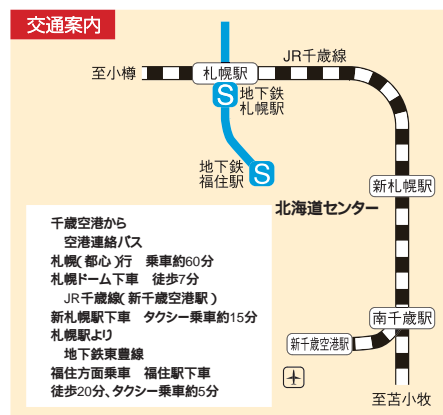


独立行政法人  
産業技術総合研究所  
北海道センター

北海道センター | 〒062-8517  
札幌市豊平区月寒東2条17丁目2番1号  
TEL 011-857-8400 FAX 011-857-8900

札幌大通りサイト | 〒060-0042  
札幌市中央区大通西5丁目8番地 昭和ビル1階  
TEL 011-219-3359 FAX 011-219-3351

ホームページ: <http://unit.aist.go.jp/hokkaido/>  
E-mail: [hokkaido-collab@m.aist.go.jp](mailto:hokkaido-collab@m.aist.go.jp)



**OSL**  
Open Space Lab 北海道産学官連携研究棟  
ほっかいどうOSL

**AIST Hokkaido**

# バイオ新時代を拓く研究開発拠点、ほっかいどうOSL

北海道産学官連携研究棟は、産総研のバイオ技術のポテンシャルとシーズを地域の技術やニーズに結合させることで、地域産業の活性化並びに新規産業の創出を目指す研究開発拠点です。

産総研内外の研究者・技術者が互いに共同して、先端バイオ技術の研究開発及び事業活動に利用します。

本研究棟は、再生医療技術の開発に不可欠なクリーンルームやマイクロアイソレーション方式のラックを備えたマウス・ラットの飼育施設など、全国でも数少ない最新のシステムを備えた、バイオ新時代にふさわしい研究開発拠点です。既存のバイオベンチャー育成センターと一体的に活用することで、産総研内外の技術開発型ベンチャーを支援するとともに、バイオ産業クラスターの着実な形成を支えます。



洗淨減菌室



特殊飼育室



クリーンルーム(無菌室)

室圧計



バイオ系実験室



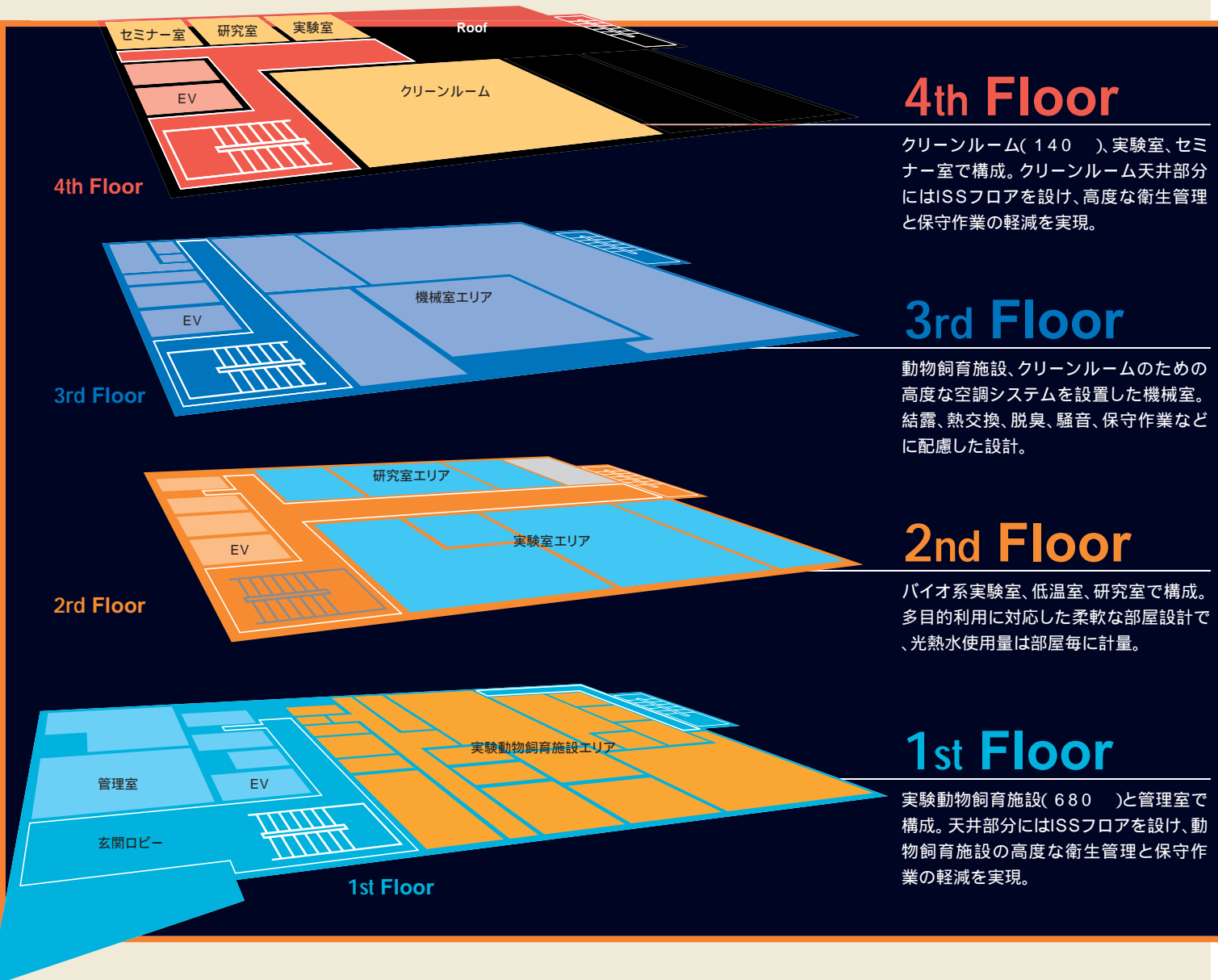
マウス飼育室とワークベンチ



滅菌用大型オートクレーブ



ラット飼育室



## 4th Floor

クリーンルーム(140)、実験室、セミナー室で構成。クリーンルーム天井部分にはISSフロアを設け、高度な衛生管理と保守作業の軽減を実現。

## 3rd Floor

動物飼育施設、クリーンルームのための高度な空調システムを設置した機械室。結露、熱交換、脱臭、騒音、保守作業などに配慮した設計。

## 2nd Floor

バイオ系実験室、低温室、研究室で構成。多目的利用に対応した柔軟な部屋設計で、光熱水使用量は部屋毎に計量。

## 1st Floor

実験動物飼育施設(680)と管理室で構成。天井部分にはISSフロアを設け、動物飼育施設の高度な衛生管理と保守作業の軽減を実現。

### 実験動物飼育施設

SPF(特定病原体フリー)仕様のマウス・ラット飼育施設であり、マウス飼育室、ラット飼育室、洗淨減菌室、処置室、特殊飼育室、飼料・床敷保管庫、自動給水装置等で構成。また、指紋照合による入退室管理など、高度なセキュリティシステムを採用。

動物種:マウス、ラット 飼育能力:マウス 5ラック(両面タイプ、126ケージ/ラック)、ラット8ラック(両面タイプ、70ケージ/ラック) 飼育方法:マイクロアイソレーション型ラック及びワークベンチの採用 飼育管理:産総研による完全飼育管理方式 特殊飼育室:陰圧制御された遺伝子操作動物飼育室。クリーンアイソレータ(16密閉ボックス収納)を設置。

### マイクロアイソレーション型ラックの採用

HEPAフィルターを通った清浄な空気を、各ケージ毎に強制通気させて換気する最新の飼育方法。本ラックの採用により、ケージ間の感染事故の大幅な減少、ケージ交換頻度の低減、高密度飼育の実現、飼育室の大部屋化、飼育室内の臭気、ダスト、アレルギーの大幅な低減など、高度な衛生管理と大幅な省力化を実現。

### クリーンルーム

細胞や組織の培養・加工など再生医療分野における技術開発に不可欠な施設で、バイオリジカルクリーンルームとして機能。薬事法におけるGMP(製造管理及び品質管理規則)に対応可能な施設として、無菌室、保存室、品質管理室、データ管理室などで構成。HEPAフィルターを用いた空調設備により室圧差を制御することで、クラス10,000~100,000(1ft<sup>3</sup>中に含まれる0.5μm以上の粒子数)の清浄度の維持が可能であり、塵埃や微生物を持ち込まない、また持ち出さないための対策が完備。

#### 施設概要

地上4階建ての最先端バイオ研究施設で、マウス・ラットの実験動物飼育施設、GMPに準拠したクリーンルーム、バイオ系実験室などで構成。  
延床面積 3,188 総工費 21億円  
1階/実験動物飼育施設、管理室 2階/バイオ系実験室、低温室、研究室 3階/機械室 4階/クリーンルーム、実験室、セミナー室等

#### 利用条件

バイオ分野の技術開発を目指し、且つ以下の条件を満たした研究グループあるいは企業であることが条件で、利用に当たっては産総研の審査・承認を得る必要があります。  
AIST認定ベンチャー企業であるとき 産総研との共同研究を行うとき 産総研が受託研究を行うとき  
利用期間は原則3年以内とする。但し3年を過ぎて利用する場合は、1年ごとの延長承認を得て、先の3年を含め最長5年を限度とする。